



西栗倉小だより

令和5年2月27日 NO. 11
<http://www.es-nishiawakura.jp/index.html>

児童会役員選挙

ポスター掲示、休み時間の自己PRと選挙活動が続けた5人の候補者たち。明るい学校、元気な学校、平和な学校にと思いを持って立候補することがすばらしいです。演説と応援演説では、堂々と考えや抱負、自己PRを述べました。投票の結果、新役員が選ばれました。今後の活躍を期待しています。



児童長	・森下 幸明	(5年)
副児童長	・野田 侑	(5年)
	・國里 涼	(4年)
書記	・木村 太一	(5年)
	・青木 煌太	(4年)

助成への感謝

武蔵育成会の皆様から毎年、児童の学習に生かしてくださいと助成金をいただいております。全ての紹介にはなりませんが、有効に活用させていただいております。感謝申し上げます。



学校教育目標

「ふるさとを愛し心豊かにたくましく自ら学ぶ児童の育成」

- めざす子ども像
- かんがえる子(自ら考え行動する子)
 - やさしい子 (思いやりがあり、助け合う子)
 - がんばる子 (最後までやりぬく子)

不審者訓練

1月11日(水)

平成13年6月 大阪府池田市の池田小学校での不審者による児童教員への無差別殺傷事件以降、不審者対応を確認し、安全な学校を目指しています。

今回は警察の協力をいただいていた訓練です。

授業時間に不審者が校舎内に入ってきたという想定で行いました。不審に感じた教員からの連絡で、全校放送を行って避難です。

いか	ついていかない
の	のらない
お	おおごえをだす
す	すぐにげる
し	しらせる



左は、「いかのおすし」。不審者から身を守る行動について、子どもたちに指導している内容です。



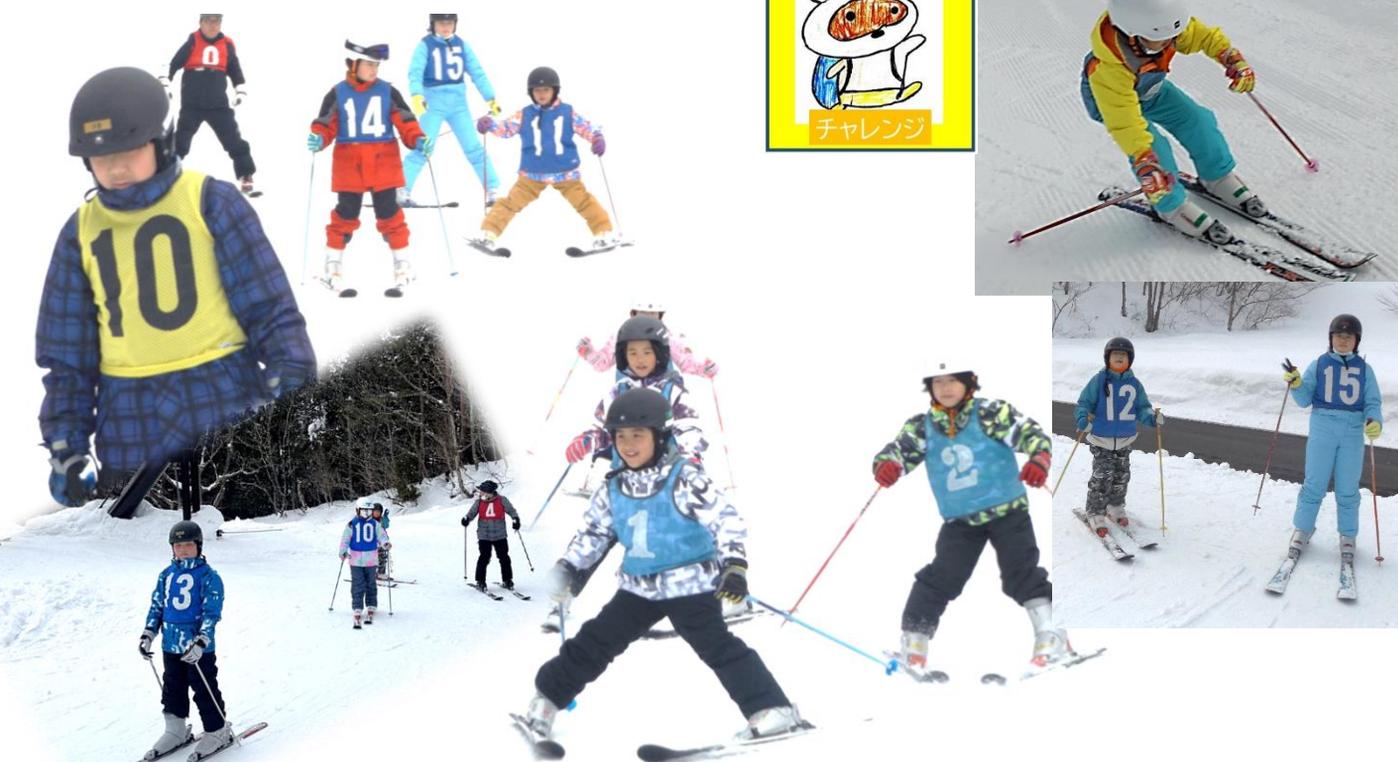
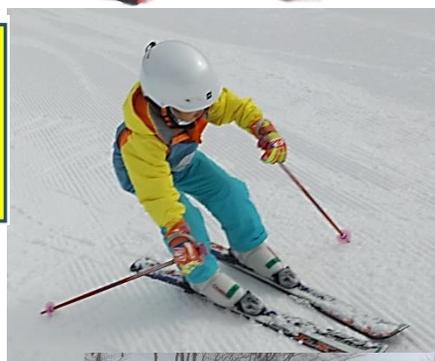
訓練最後に警察の方と顔を合わせ、美作警察署生活安全課の樋口さんからお話を伺いました。日頃から身に付けてほしいこととして、「話をきちんと聞けること」「素直に受け止めること」「自分の命は自分で守る

行動をとれること」をお話しされました。不審者の見分けは難しいため、突然知らない人から話しかけられた時には距離を取ること、「すみません、大人の人に聞いてください」という返し方ができることも大切だと伝えられました。

全校スキー教室

2月3日(金)





「すべれる！」「楽しい！」と笑顔で伝えてくれる。ぐんと上手くなるのを目の当たりにする。私たちが幸せを実感する瞬間です。村体協スキー部、役場職員の方を講師に迎え、西粟倉村を離れてのスキー教室が実施できました。冬を楽しむ、スポーツを楽しむ。美しい自然と環境の中で、できないことができるようになる、チャレンジをする、つながりを大切にする。大きな手ごたえを子どもたちが感じる、得難い学びの場でした。

大人の読み聞かせ

1月13日(金)



今日は、担任とは違う教員で読み聞かせ。絵本に触れ、絵本の世界の想像を膨らませる機会として設けています。



スキー練習 2年

2月1日(水)



どこのゲレンデでしょうか。いえいえ、体育の時間に、幼稚園からの坂道とグラウンドを使ってスキーの練習です。大雪のおかげで、練習することができました。



英語フェスティバル

4 質の高い教育を
みんなに



2月7日(火)



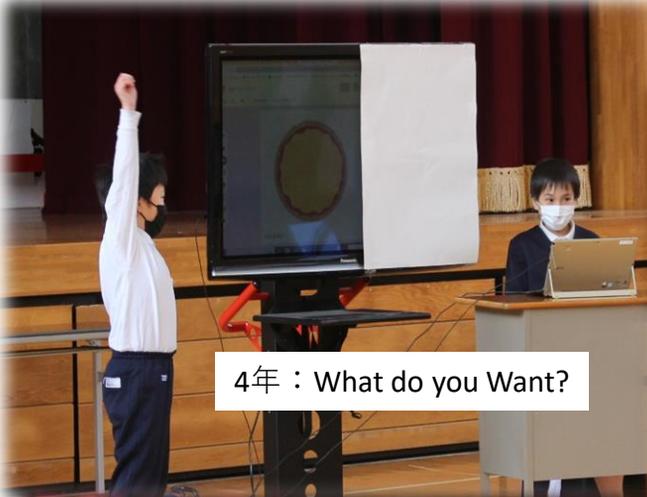
3年：What do you Like?



2年：Who Came First?



1年：The Giant Turnip



4年：What do you Want?



5年：My Favorite Season



6年：My Best Memory

劇、お気に入りの紹介。6年生は思い出の発表です。将来、英語で会話したい、海外で生活したい。そんな思いも聞きました。

学びたい賞フォーラム 6年 2月14日(火)

県下の小中高が参加し、討議を行うフォーラムに6年生が参加しました。代表5名を中心に応募作品への質問や感想を交流する討議を行いました。



西栗倉村を学んできたことから食品ロスをテーマにした学習を進め、日常生活で取り組めることを進めたことの発表です。見守る人は、ホワイトボードで考えを伝えての参加です。



翌日15日には、あわくら会館での村SDGs発表会で学習したすべてのテーマを発表しました。



戦争体験から学ぶ 6年 2月20日(月)



戦争を二度と体験してほしくない。6年生の質問に答えていただき、平和の大切さを伝えていただきました。戦後77年を過ぎ西栗倉の方の体験から学ぶ、貴重な時間でした

6年生は真剣に聞いていました。



森林から村の施策へ 4年 2月15日(水)



西栗倉の森林、水など自然の豊かさとSDG s 未来都市として、自然を生かし、村の人たちが豊かに住み続けられる村の施策を学んだ4年生。村SDG s 発表会で発表しました。教えてくださった役場の皆さん、6年生、中学生にも聞いていただきました。